

磐田市防災ファイル新旧対照表

旧	新								
<p style="text-align: center;">も く じ</p> <p>防災情報編</p> <p>防災情報を入力しよう……………情報 No.1 防災情報はどんな方法で確認できるの？</p> <p>避難に関する情報とは？……………情報 No.2 避難準備情報や避難勧告ってなに？</p> <p>これだけは覚えてもらいたい同報無線放送…情報 No.3 災害時にはどんなサイレンが鳴るの？</p> <p>自主防災活動に参加しよう……………情報 No.4 自主防災会の役割ってなに？</p> <p>家族との連絡方法を確認しておきましょう…情報 No.5 安否確認の手段は？</p> <p>非常持出品・備蓄品を準備しよう……………情報 No.6 どんなものをどれくらい備蓄すればいいの？</p> <p>いざというときの応急手当……………情報 No.8 私たちができる応急手当ってなに？</p> <p>風水害編</p> <p>集中豪雨から身を守りましょう……………風水害 No.1 大雨警報や土砂災害警戒情報はいつ発表されるの？ 台風や集中豪雨のときどんな行動をすればいいの？ 避難準備情報や避難勧告のときどうすればいいの？</p> <p>河川の氾濫や土砂災害から 身を守りましょう……………風水害 No.2 河川が氾濫しそうなときどうすればいいの？ 土砂災害の種類と前兆現象は？</p> <p>地震編</p> <p>地震の知識を身につけよう……………地震 No.1 今までにどんな地震が発生しているの？ 東海地震の予知情報ってなに？</p> <p>第4次地震被害想定……………地震 No.2 第4次地震被害想定ってなに？ どれくらい揺れるの？被害の大きさは？</p> <p>地震の基礎知識……………地震 No.3 地震はどうやって発生するの？</p> <p>地震が起きたらどうする？……………地震 No.4 地震が起きたらどうすればいいの？</p> <p>大きな揺れに備えてわが家の安全対策…地震 No.5 わが家の耐震対策のススメ……………地震 No.8</p> <p>津波編</p> <p>津波の危険から身を守りましょう……………津波 No.1 津波から避難するポイント……………津波 No.2</p> <p>付録編</p> <p>主な用語の解説……………付録 No.1 わが家の防災メモ……………付録 No.2</p>	<p style="text-align: center;">も く じ</p> <p>防災情報編</p> <p>防災情報を入力しよう……………情報 No.1 防災情報はどんな方法で確認できるの？</p> <p>避難に関する情報とは？……………情報 No.2 避難準備・高齢者等避難開始や避難勧告ってなに？</p> <p>これだけは覚えてもらいたい同報無線放送…情報 No.3 災害時にはどんなサイレンが鳴るの？</p> <p>自主防災活動に参加しよう……………情報 No.4 自主防災会の役割ってなに？</p> <p>家族との連絡方法を確認しておきましょう…情報 No.5 安否確認の手段は？</p> <p>非常持出品・備蓄品を準備しよう……………情報 No.6 どんなものをどれくらい備蓄すればいいの？</p> <p>いざというときの応急手当……………情報 No.8 私たちができる応急手当ってなに？</p> <p>風水害編</p> <p>集中豪雨から身を守りましょう……………風水害 No.1 大雨警報や土砂災害警戒情報はいつ発表されるの？ 台風や集中豪雨のときどんな行動をすればいいの？ 避難準備・高齢者等避難開始や避難勧告のときどう すればいいの？</p> <p>河川の氾濫や土砂災害から 身を守りましょう……………風水害 No.2 河川が氾濫しそうなときどうすればいいの？ 土砂災害の種類と前兆現象は？</p> <p>津波編</p> <p>津波の危険から身を守りましょう……………津波 No.1 津波から避難するポイント……………津波 No.2</p> <p>付録編</p> <p>主な用語の解説……………付録 No.1 わが家の防災メモ……………付録 No.2</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>わが家の防災メモ 付録 No.1 のページで言葉の意味を確認しよう！</p> <table border="1"> <tr> <td>避難場所</td> <td>津波</td> </tr> <tr> <td>指定緊急避難場所</td> <td>洪水</td> </tr> <tr> <td></td> <td>土砂</td> </tr> <tr> <td>指定避難所</td> <td></td> </tr> </table> </div>	避難場所	津波	指定緊急避難場所	洪水		土砂	指定避難所	
避難場所	津波								
指定緊急避難場所	洪水								
	土砂								
指定避難所									



防災情報を 入手しましょう

やっ
て
みよう!

防災情報は、テレビやラジオ、インターネットなどいろいろな方法で受け取ることができ
ます。どこでどんな情報を入手できるのか、日ごろから使って慣れておきましょう。

メールで防災情報などを入手したいとき 参照 登録方法は前ページをご覧ください

市役所のメール配信サービス「いわたホットライン」

▶ <http://www.city.iwata.shizuoka.jp/shisel/kouhou/service/hotline.php>

いわたホットラインとは、携帯電話やパソコンなどのメール機能を利用して、市民の皆さんにさまざまな情
報を配信するサービスです。是非登録してご利用ください。

※登録は無料ですが、配信の登録や変更、削除、メール受信などにかかる通信料やパケット通信費は利用者の負担となります。

お手軽に防災情報などを入手したいとき

テレビのデータ放送では、天気やニュース、防災情報などを見ることができます。

●データ放送を見るには

見たいチャンネルに合わせてリモコンの d(データ、データ運動、データ連
動、連動データなど) と書かれたボタンを押してください。

※機種によって設定方法が異なるので、詳しくは受信機の取扱説明書をご覧ください。

※設定できないときは、受信機の機種名・型番号をご確認のうえメーカーや購入
した電気店などにお問い合わせください。



お住まいの地域の状況を詳しく知りたいとき

静岡県防災GIS情報閲覧ページ

▶ <http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/gis/maps.html>

静岡県地震防災センターのホームページに防災GIS情報を閲覧できるペ
ージがあります。地図上に推定津波浸水域などの情報が掲載されています。



雨量や河川水位を詳しく知りたいとき

サイボスレーダー

▶ <http://spos.shizuoka2.jp/spos/index.html>

サイボスレーダーとは、静岡県が運営する地域密着型防災サイトです。
ピンポイント天気予報をはじめ、防災情報、雨量・水位情報などをリアル
タイムで提供しています。



気象情報を詳しく知りたいとき

気象庁の高解像度降水ナウキャスト

▶ <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

気象庁のホームページでは、さまざまな気象情報を提供しています。地
域の情報をチェックしましょう。



防災情報を 入手しましょう

やっ
て
みよう!

防災情報は、テレビやラジオ、インターネットなどいろいろな方法で受け取ることができ
ます。どこでどんな情報を入手できるのか、日ごろから使って慣れておきましょう。

メールで防災情報などを入手したいとき 参照 登録方法は前ページをご覧ください

市役所のメール配信サービス「いわたホットライン」

▶ <http://www.city.iwata.shizuoka.jp/shisel/kouhou/service/hotline.php>

いわたホットラインとは、携帯電話やパソコンなどのメール機能を利用して、市民の皆さんにさまざま情報を配信する
サービスです。是非登録してご利用ください。

※登録は無料ですが、配信の登録や変更、削除、メール受信などにかかる通信料やパケット通信費は利用者の負担となります。

スマホのアプリで防災情報などを入手したいとき

県総合防災アプリ「静岡県防災」

▶ <https://www.pref.shizuoka.jp/bousai/application.html>

静岡県では、スマートフォン向け総合防災アプリ「静岡県防災」の運用を開始しまし
た。各種緊急情報の通知から、ハザードマップの確認、平時の防災学習や避難トレー
ニングまで、災害時に幅広く役立つ機能を備えています。

※令和2年4月からは、英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語にも対応します。



お手軽に防災情報などを入手したいとき

テレビのデータ放送では、天気やニュース、防災情報などを見ることができます。

●データ放送を見るには

見たいチャンネルに合わせてリモコンの d(データ、データ運動、連動デー
タなど) と書かれたボタンを押してください。

※機種によって設定方法が異なるので、詳しくは受信機の取扱説明書をご覧ください。

※設定できないときは、受信機の機種名・型番号をご確認のうえメーカーや購入した電気店
などにお問い合わせください。



お住まいの地域の状況を詳しく知りたいとき

静岡県地理情報システム

▶ <https://www.gis.pref.shizuoka.jp/>

静岡県のホームページでは、幅広い情報を地図と重ねて見られる「静岡県 GIS」を公開してい
ます。その中の「みんなのハザードマップ」ではお住まいの地域の災害リスクを見ることができます。



雨量や河川水位を詳しく知りたいとき

サイボスレーダー

▶ <http://spos.pref.shizuoka.jp/>

サイボスレーダーとは、静岡県が運営する地域密着型防災サイトです。ピンポイント
天気予報をはじめ、防災情報、雨量・水位情報などをリアルタイムで提供しています。



気象情報を詳しく知りたいとき

気象庁

▶ <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

気象庁のホームページでは、**雨量の動き(高解像度降水ナウキャスト)** などさまざま
な気象情報を提供しています。地域の情報をチェックしましょう。





避難に関する情報とは？

知っておこう！

災害の危険が迫って住民の避難が必要になった場合、市は避難に関する情報を発令します。市民の皆さんは各情報に応じた行動を取ってください。

Point 避難準備情報(要配慮者避難情報)

- 人的被害の発生する危険性が高まった状況です。
- 家族などとの連絡、非常持出品の用意など避難の準備をお願いします。
- 避難に時間がかかる高齢者などの要配慮者*は避難所などへ避難してください。

*要配慮者とは、高齢者や子ども、障がい者など災害のときならんかの手助けが必要な人のことです。(これまでは災害時要援護者といわれていました。)



防災情報編

Point 避難勧告

- 人的被害の発生する危険性が明らかに高まった状況です。
- 対象地域の住民は、避難所などへ避難してください。
- 「まだ、大丈夫」と自己判断せず、早め早めに対応することが命を守るポイントです。



Point 避難指示

- 人的被害の発生する危険性が非常に高まった状況、あるいはすでに人的被害が発生した状況です。
- 対象地域の住民は、避難をしなければなりません。
- まだ避難していない住民は、直ちに避難してください。
- 万一避難できなければ、「命を守る最低限の行動」を取ります。



命を守る最低限の行動とは

すでに浸水が始まっているなど、危険な状況の中での避難行動はできるだけ避け、安全の確保を第一に考えます。屋外での移動が危険だと判断した場合は、自宅か近隣建物の高所へ移動し、救助を待つことも検討してください。

避難勧告が発表されていなくても早め早めに行動しましょう



避難に関する情報とは？

知っておこう！

災害の危険が迫って住民の避難が必要になった場合、市は避難に関する情報を発令します。市民の皆さんは各情報に応じた行動を取ってください。

レベル3 避難準備・高齢者等避難開始

- 人的被害の発生する危険性が高まった状況です。
- 家族などとの連絡、非常持出品の用意など避難の準備をお願いします。
- 避難に時間がかかる高齢者などの要配慮者*は避難場所などへ避難してください。

*要配慮者とは、高齢者や子ども、障がい者など災害のときならんかの手助けが必要な人のことです。(これまでは災害時要援護者といわれていました。)



防災情報編

レベル4 避難勧告

- 人的被害の発生する危険性が明らかに高まった状況です。
- 対象地域の住民は、避難場所などへ避難してください。
- 「まだ、大丈夫」と自己判断せず、早め早めに対応することが命を守るポイントです。



レベル4 避難指示(緊急)

- 人的被害の発生する危険性が非常に高まった状況、あるいはすでに人的被害が発生した状況です。
- 対象地域の住民は、避難をしなければなりません。
- まだ避難していない住民は、直ちに避難してください。
- 万一避難できなければ、「命を守る最低限の行動」を取ります。



レベル5 災害発生情報(命を守る最低限の行動とは)

すでに浸水が始まっているなど、危険な状況の中での避難行動はできるだけ避け、安全の確保を第一に考えます。屋外での移動が危険だと判断した場合は、自宅か近隣建物の高所へ移動し、救助を待つことも検討してください。

避難勧告が発表されていなくても早め早めに行動しましょう



これだけは覚えてもらいたい同報無線放送

普段と違うサイレンが聞こえたら直ちに身を守る行動をしましょう！ **参照** 地震No.1、地震No.4、津波No.1、津波No.2

放送の種類	サイレンの音	どんなとき	そのときの行動
東海地震予知情報 (警戒宣言の発令)	45秒サイレン吹鳴後 15秒休止×2回	東海地震発生の恐れがあるとき	大きな地震に備える行動を取りましょう。
緊急地震速報	ポロンポーン・ポロンポーン (緊急地震速報チャイム音)	大きな地震が発生し、大きな揺れがくるまでのわずかな時間	周りの人にも声をかけながら、あわてず身を守りましょう。
大津波警報	3秒サイレン吹鳴後 2秒休止×3回	大津波警報が発表されたとき	海岸、河口付近の方は警報が発表されなくても、大きな地震発生後すぐ避難してください。
津波警報	5秒サイレン吹鳴後 6秒休止×2回	津波警報が発表されたとき	海岸、河口付近にいる人は、直ちに海岸から離れ、絶対に近づかないください。
津波注意報	10秒サイレン吹鳴後 2秒休止×2回	津波注意報が発表されたとき	

- これらのサイレン音は磐田市ホームページ「防災・救急・いざというときに」から確認できます。
- このほかにもサイレン音の種類があります。詳細につきましては、下記を参照してください。
内閣官房国民保護ポータルサイト国民保護に係る警報のサイレン音
▶ <http://www.kokuminhogo.go.jp/arekore/shudan.html#siren>

Point 同報無線が聞こえないのですが……

- 同報無線の限界について
「同報無線はやまびこのように音が重なって聞こえたり、家の中ではまったく聞こえないんですが…」という市民の皆さんのご意見を多くいただきます。今の技術では、同報無線だけで正確に情報をお伝えすることができません。市民の皆さんの自分から情報を取りに行く姿勢で同報無線の弱点を補ってください。

- 「**いわたホットライン**」から同報無線放送の内容が確認できます。
- 磐田市ホームページ「防災・救急・いざというときに」から同報無線放送の内容が確認できます。その他さまざまな防災情報をご活用ください。 **参照** 情報No.1

磐田市ホームページから防災情報を見ることができます

磐田市ホームページでは、随時災害に関する緊急情報や避難に関する指示などを更新しております。お住まいの地域の防災に関する情報についても閲覧することができます。是非ご利用ください。

<http://www.city.iwata.shizuoka.jp/>

携帯サイト公開中!

緊急・防災・防犯について
 1 消防 2 防犯 3 同報無線放送内容
 4 防災・救急・いざというときに

ここから確認できます!

情報No.3

これだけは覚えてもらいたい同報無線放送

普段と違うサイレンが聞こえたら直ちに身を守る行動をしましょう！ **参照** 地震No.1、地震No.4、津波No.1、津波No.2

放送の種類	サイレンの音	どんなとき	そのときの行動
緊急地震速報	ポロンポーン・ポロンポーン (緊急地震速報チャイム音)	大きな地震が発生し、大きな揺れがくるまでのわずかな時間	周りの人にも声をかけながら、あわてず身を守りましょう。
大津波警報	3秒サイレン吹鳴後 2秒休止×3回	大津波警報が発表されたとき	直ちに海岸や河川から離れ、できるだけ高い場所に緊急に避難してください。
津波警報	5秒サイレン吹鳴後 6秒休止×2回	津波警報が発表されたとき	海の中や海岸付近は危険です。直ちに海岸から離れて高い場所に緊急に避難してください。
津波注意報	10秒サイレン吹鳴後 2秒休止×2回	津波注意報が発表されたとき	

- これらのサイレン音は磐田市ホームページ「ページ番号1001141」から確認できます。
- このほかにもサイレン音の種類があります。詳細につきましては、下記を参照してください。
内閣官房国民保護ポータルサイト国民保護に係る警報のサイレン音
▶ <http://www.kokuminhogo.go.jp/arekore/shudan.html#siren>

Point 同報無線が聞こえないのですが……

- 同報無線の限界について
「同報無線はやまびこのように音が重なって聞こえたり、家の中ではまったく聞こえないんですが…」という市民の皆さんのご意見を多くいただきます。今の技術では、同報無線だけで正確に情報をお伝えすることができません。自分から情報を取りに行く姿勢で同報無線の弱点を補ってください。

- メール配信サービス「**いわたホットライン**」から同報無線放送の内容が確認できます。

- 磐田市ホームページでは、同報無線放送時に「**いわたホットライン**」と連携し、メール配信内容を自動で表示しています。(1)

1 同報無線放送内容

- 台帳○○号に関する注意喚起(○月○日)

- 他にも随時、災害に関する緊急情報や避難に関する情報などを更新しています。(2)

2 お知らせ

- 台帳○○号に関する情報について

- 緊急時の災害情報や通常時の防災情報の収集にもぜひご利用ください。(3)

3 災害・防災情報

1 同報無線放送内容

2 お知らせ

3 災害・防災情報

磐田市ホームページ/トップ画面(イメージ)

情報No.3

家族との連絡方法を確認しておきましょう

やってみよう!

災害時、最も心配になるのは家族の安否です。東日本大震災では通信回線がつながりにくくなり、安否確認に手間取りました。複数の手段で連絡が取れるようにしておきましょう。

学校などでの家族の引き取りルールを確認しましょう

東日本大震災を受け、学校などでは、気象警報や土砂災害警戒情報などが発表されたり、実際に災害が発生したときに備え、帰宅や家族への引き取りルールをつくっています。引き取りルールは各施設によって異なるので、施設に確認して家族全員がわかるようにしておきましょう。

学校などで被災した場合

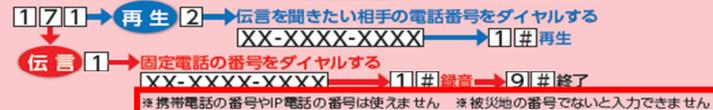
- 家族への連絡体制はどうなっているのか
- 施設の避難誘導体制はどうなっているのか
- 家族への引き渡し方法はどうか
- すぐに引き取りに行けないときはどれくらい保護してもらえるのか

音声・文字による連絡方法を知っておきましょう

■音声による連絡方法

震度6弱以上の地震など大きな災害の発生により、被災地へ電話がつながりにくくなったとき利用できるようなる声の伝言板です。

●NTT西日本災害用伝言ダイヤル**171**を使う 携帯電話や公衆電話からもかけられます



※携帯電話の番号やIP電話の番号は使えません ※被災地の番号でないと入力できません

※ガイダンスが流れるので、その指示に従って落ち着いて録音・再生をしてください。

●NTTドコモでは、災害用音声お届けサービスという連絡方法があります。

公衆電話を利用

災害時、公衆電話は優先的に回線が確保されます。また、災害時には被災地の公衆電話は無料で使えます(国際電話は使えません)。ただし、旧型の公衆電話(緑色の本体とシルバーのボタン)の場合、10円玉がテレホンカードを入れないと電源が入りません。被災地以外で使用する場合は、テレホンカードや10円玉を持っていると便利です。



携帯電話の「災害用伝言板」を利用

ご自身の安否情報を文字で登録することができ、登録された安否情報は携帯電話やパソコンから確認できます。詳細については、各携帯電話会社にお問い合わせください。

携帯電話のメールを利用

携帯電話のメールを利用するのも有効です。災害発生直後はつながりにくくなり、相手に届くまでに時間がかかりますが、自分の状況を随時送信しておくことで、災害用伝言板と同じ役割を果たします。

パソコンのEメールを利用

東日本大震災では、パソコン(インターネット)を使ったEメールは比較的働きやすく、多くの人に活用されました。

ソーシャルメディアを使って安否確認をしましょう

東日本大震災では、電話が繋がらない中、SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)などのメディアが安否確認に役立ちました。こうしたサービスを家族や友人とともに普段から使い慣れておくことで、いざというとき複数の方法で連絡を取ることができます。

家族との連絡方法を確認しておきましょう

やってみよう!

災害時、最も心配になるのは家族の安否です。東日本大震災では通信回線がつながりにくくなり、安否確認に手間取りました。複数の手段で連絡が取れるようにしておきましょう。

学校などでの家族の引き取りルールを確認しましょう

東日本大震災を受け、学校などでは、気象警報や土砂災害警戒情報などが発表されたり、実際に災害が発生したときに備え、帰宅や家族への引き取りルールをつくっています。引き取りルールは各施設によって異なるので、施設に確認して家族全員がわかるようにしておきましょう。

学校などで被災した場合

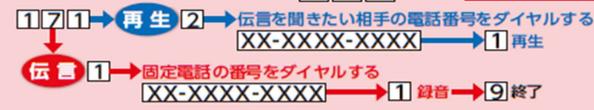
- 家族への連絡体制はどうなっているのか
- 施設の避難誘導体制はどうなっているのか
- 家族への引き渡し方法はどうか
- すぐに引き取りに行けないときはどれくらい保護してもらえるのか

音声・文字による連絡方法を知っておきましょう

■音声による連絡方法

震度6弱以上の地震など大きな災害の発生により、被災地へ電話がつながりにくくなったとき利用できるようなる声の伝言板です。

●NTT西日本災害用伝言ダイヤル**171**を使う 携帯電話や公衆電話からもかけられます



※携帯電話の番号やIP電話の番号は使えません ※被災地の番号でないと入力できません

※ガイダンスが流れるので、その指示に従って落ち着いて録音・再生をしてください。

●NTTドコモでは、災害用音声お届けサービスという連絡方法があります。

公衆電話を利用

災害時、公衆電話は優先的に回線が確保されます。また、災害時には被災地の公衆電話は無料で使えます(国際電話は使えません)。ただし、旧型の公衆電話(緑色の本体とシルバーのボタン)の場合、10円玉がテレホンカードを入れないと電源が入りません。被災地以外で使用する場合は、テレホンカードや10円玉を持っていると便利です。



携帯電話の「災害用伝言板」を利用

ご自身の安否情報を文字で登録することができ、登録された安否情報は携帯電話やパソコンから確認できます。詳細については、各携帯電話会社にお問い合わせください。

携帯電話のメールを利用

携帯電話のメールを利用するのも有効です。災害発生直後はつながりにくくなり、相手に届くまでに時間がかかりますが、自分の状況を随時送信しておくことで、災害用伝言板と同じ役割を果たします。

パソコンのEメールを利用

東日本大震災では、パソコン(インターネット)を使ったEメールは比較的働きやすく、多くの人に活用されました。

ソーシャルメディアを使って安否確認をしましょう

東日本大震災では、電話が繋がらない中、SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)などのメディアが安否確認に役立ちました。こうしたサービスを家族や友人とともに普段から使い慣れておくことで、いざというとき複数の方法で連絡を取ることができます。

覚えておきたい応急手当のポイント

●出血

- ①出血部分にガーゼやタオルを当て、その上から手で圧迫する。
- ②傷口は心臓よりも高い位置にする。

※感染を防ぐため、ビニール手袋やビニール袋を使用するのが望ましい。



●骨折

- ①折れた部分に副木を当てて固定し、医療機関へ。
- ②適当な副木がなければ、板、筒状にした週刊誌、傘、段ボールなど身近にあるもので代用する。その上からテープでとめてもよい。



●やけど

- ①流水で冷やす。
- ②衣服の上からやけどをした場合は、無理に脱がさずそのまま冷やす。
- ③水泡（水ぶくれ）は破らない。
- ④冷やした後は消毒ガーゼかきれいな布で保護し、医療機関へ。



●ねんざ

- ①患部を冷やす。
- ②靴をはいたまま、上から三角巾や布で固定する。



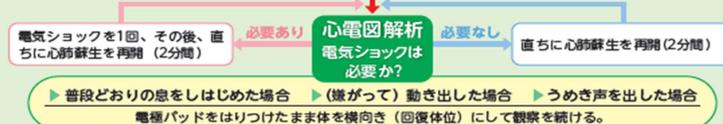
AEDの使い方

AED（自動体外式除細動器）が到着したら、傷病者に装着し、AEDの音声指示に従って操作してください。現場にAEDがある場合は、AEDを優先的に使用しましょう。

- AEDとは、心停止状態にある心室細動を電気ショックによって除去（除細動）し、心臓を正常な状態に戻す装置です。
- 自動的に傷病者の心電図を解析し除細動の必要性を判断したうえで、音声メッセージにより必要な処置を指示します。
- 心停止から5分以内の除細動の実施が、心停止状態の傷病者の蘇生・社会復帰の確率を高めます。救急現場にAEDがある場合には、落ち着いてAEDを使いましょう。



AEDの装着



チェック ●AEDは2分おきに自動的に心電図解析を始め、そのつど「体から離れてください」などの音声がかかります。傷病者から手を離し、周囲の人にも離れるよう声をかけてください。

●「ショックは必要ありません」のメッセージを、「心肺蘇生をやめてもよい」と誤解しないようにしてください。

アドバイス

AEDの設置場所

AEDは、駅、空港、競技場、劇場、役所、学校などが集まりやすい場所に赤やオレンジ色の専用ボックスに入って設置されています。（磐田市の設置場所は、磐田市ホームページ「防災・救急・いざというときに」人命救助-AEDの設置状況から確認できます。）

情報No.9

覚えておきたい応急手当のポイント

●出血

- ①出血部分にガーゼやタオルを当て、その上から手で圧迫する。
- ②傷口は心臓よりも高い位置にする。

※感染を防ぐため、ビニール手袋やビニール袋を使用するのが望ましい。



●骨折

- ①折れた部分に副木を当てて固定し、医療機関へ。
- ②適当な副木がなければ、板、筒状にした週刊誌、傘、段ボールなど身近にあるもので代用する。その上からテープでとめてもよい。



●やけど

- ①流水で冷やす。
- ②衣服の上からやけどをした場合は、無理に脱がさずそのまま冷やす。
- ③水泡（水ぶくれ）は破らない。
- ④冷やした後は消毒ガーゼかきれいな布で保護し、医療機関へ。



●ねんざ

- ①患部を冷やす。
- ②靴をはいたまま、上から三角巾や布で固定する。



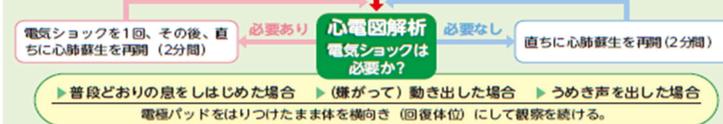
AEDの使い方

AED（自動体外式除細動器）が到着したら、傷病者に装着し、AEDの音声指示に従って操作してください。現場にAEDがある場合は、AEDを優先的に使用しましょう。

- AEDとは、心停止状態にある心室細動を電気ショックによって除去（除細動）し、心臓を正常な状態に戻す装置です。
- 自動的に傷病者の心電図を解析し除細動の必要性を判断したうえで、音声メッセージにより必要な処置を指示します。
- 心停止から5分以内の除細動の実施が、心停止状態の傷病者の蘇生・社会復帰の確率を高めます。救急現場にAEDがある場合には、落ち着いてAEDを使いましょう。



AEDの装着



チェック ●AEDは2分おきに自動的に心電図解析を始め、そのつど「体から離れてください」などの音声がかかります。傷病者から手を離し、周囲の人にも離れるよう声をかけてください。

●「ショックは必要ありません」のメッセージを、「心肺蘇生をやめてもよい」と誤解しないようにしてください。

アドバイス

AEDの設置場所

AEDは、駅、空港、競技場、劇場、役所、学校などが集まりやすい場所に赤やオレンジ色の専用ボックスに入って設置されています。（磐田市の設置場所は、磐田市ホームページ「**ページ番号：1001227**」人命救助-AEDの設置状況から確認できます。）

情報No.9



集中豪雨から身を守りましょう

知っておこう!

参照 鶴田市天竜川浸水想定区域マップ
鶴田市太田川浸水想定区域マップ

大雨による災害の恐れがある場合、気象庁はさまざまな防災気象情報を発表します。防災気象情報が出されるタイミングやその意味とところを理解し、いざというときの避難に役立てましょう。



大雨などに関する情報と対応

鶴田市の基準予想雨量	警報・注意報等
40mm/時間 バケツをひっくり返したように降る。	大雨注意報 警報になる可能性がある場合は、その旨予告。
60mm/時間 滝のように降る。(ゴーゴーと降り続く)	大雨警報 大雨の期間、予想雨量、警戒を要する事項などを発表。
雨量だけではなく、県と気象台が連携して発表	土砂災害警戒情報 土砂災害の危険度がさらに高まった場合に発表。避難勧告などの発令、住民の自主避難の判断等の目安となる情報。
340mm/48時間かつ148mm/3時間 息苦しくなるような威圧感がある。恐怖を感じる。	大雨特別警報 数十年に一度の大雨となる恐れが大きいときに発表。

風水害編

市はこうした情報や、河川水位、過去の災害における被害状況を総合的に判断して避難に関する情報を発令します。参照 情報No.2

- 避難準備情報**
 - 避難の準備をする。
 - 避難に時間がかかる方は避難場所に避難する。
- 避難勧告**
 - 避難場所へすぐに避難する。
- 避難指示**
 - 直ちに命を守る行動を取る。(避難場所へ避難するか外出することが危険な場合は家の中の安全な場所にとどまる)

● 早い段階から気を付けること

- 防災気象情報に気を付ける。
- いわたホットライン、テレビ、ラジオなどから最新の情報を入手する。
- 窓や雨戸など、家の外観点検をする。
- 避難場所を確認する。
- 非常持出品を準備する。
- 河川等、危険な場所に近づかない。



風水害No.1



集中豪雨から身を守りましょう

知っておこう!

参照 鶴田市天竜川浸水想定区域マップ
鶴田市太田川浸水想定区域マップ

大雨による災害の恐れがある場合、気象庁はさまざまな防災気象情報を発表します。防災気象情報が出されるタイミングやその意味とところを理解し、いざというときの避難に役立てましょう。



大雨などに関する情報と対応

警戒レベル	警報・注意報等	住民がとるべき行動
レベル1	早期注意情報 (警報級の可能性)	● 最新の防災気象情報等に留意し、災害への心構えを高めましょう。
レベル2	大雨注意報 洪水注意報	● ハザードマップ等で災害が予想される地域や避難先、避難経路を確認しましょう。
レベル3	大雨警報 洪水警報	● 市が「避難準備・高齢者等避難開始」を発令する目安となる情報です。 ● 避難に時間がかかる高齢者などの要配慮者とその支援者は、避難を開始しましょう。 ● その他の人は、避難の準備を整えましょう。
レベル4	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報	● 市が「避難勧告」や「避難指示(緊急)」を発令する目安となる情報です。 ● 速やかに安全な場所へ避難しましょう。 ● 屋外での移動が危険と判断する場合は、建物内より安全な部屋等に移動しましょう。
レベル5	大雨特別警報 *1 氾濫発生情報	● 既に災害が発生している状況です。 ● 命を守るための最善の行動をとりましょう。

風水害編

*1 「大雨特別警報」は、台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合に発表されます。
*2 上述の警報・注意報等のほか、大雨警報発令中に土砂災害や浸水、中小河川の洪水につながるような、特にしきり観測しない雨量であること(記録的短時間大雨情報)があります。

市はこうした情報や、河川水位、過去の災害における被害状況を総合的に判断して避難に関する情報を発令します。参照 情報No.2

- 避難準備・高齢者等避難開始**
 - 避難の準備をする。
 - 避難に時間がかかる方は避難場所に避難する。
- 避難勧告**
 - 避難場所へすぐに避難する。
- 避難指示(緊急)**
 - 直ちに命を守る行動を取る。(指定緊急避難場所へ避難するか外出することが危険な場合は家の中の安全な場所にとどまる)

● 早い段階から気を付けること

- 防災気象情報に気を付ける。
- いわたホットライン、テレビ、ラジオなどから最新の情報を入手する。
- 窓や雨戸など、家の外観点検をする。
- 避難場所を確認する。
- 非常持出品を準備する。
- 河川等、危険な場所に近づかない。



風水害No.1



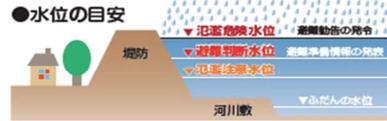
河川の氾濫や土砂災害から身を守りましょう

知って
おこう!

河川の氾濫に注意しましょう

参照 磐田市天竜川浸水想定区域マップ
磐田市太田川浸水想定区域マップ

主要な河川が氾濫する恐れがある場合、洪水予報が発表されます。国管理河川は気象庁と国土交通省が、県管理河川は気象庁と県がそれぞれ共同して予報を出します。



●水位の目安

洪水予報の種類と市・住民の対応

大雨の状況	気象情報	住民の行動
○川氾濫注意情報 (洪水注意報)	氾濫注意水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合	
○川氾濫警戒情報 (洪水警報)	避難判断水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合 ・一定時間後に氾濫危険水位に到達が見込まれる場合	必要に応じて避難の準備を
○川氾濫危険情報 (洪水警報)	氾濫危険水位に到達	いつでも避難できる態勢を。避難勧告
○川氾濫発生情報 (洪水警報)	氾濫の発生 (氾濫水の予報)	避難を完了

※洪水については特別警報の対象とならないので、指定河川洪水予報や水位周知河川の水位に応じた防災対策を取りましょう。

土砂災害に注意しましょう

参照 磐田市土砂災害特別警戒区域マップ

大雨などの際、たとえ注意に関する情報が発表されていなくても、近隣の斜面の状態に常に注意し、次のような前兆現象に気づいたときには直ちに安全な場所に避難してください。避難所に移動することが危険な場合は、上階がけから遠い部屋に急いで避難してください。

土砂災害の種類と前兆現象

土石流

山腹や深流の土砂が一気に下流へ押し流されます。

前兆現象
◎近くで山崩れなどが発生
◎立木の揺れる音や岩の流れる音がする
◎深流の水が急にごり、流木などがまざる など

がけ崩れ

雨でやわらかくなった斜面が急激に崩れ落ちます。最も多い土砂災害です。

前兆現象
◎斜面に亀裂が走る
◎小石が斜面からばらばら落下する
◎斜面から異常な音、山鳴り、地鳴りがする など

地すべり

斜面の一部が地下水の影響などでゆっくり下方に移動する現象です。

前兆現象
◎地鳴り、家鳴りがする
◎地面が揺動する、亀裂や段差が発生する
◎木の根先のすれ合う音がする (風がないとき) など

風水害No.2



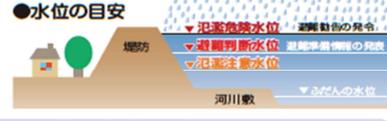
河川の氾濫や土砂災害から身を守りましょう

知って
おこう!

河川の氾濫に注意しましょう

参照 磐田市天竜川浸水想定区域マップ
磐田市太田川浸水想定区域マップ

主要な河川が氾濫する恐れがある場合、洪水予報が発表されます。国管理河川は気象庁と国土交通省が、県管理河川は気象庁と県がそれぞれ共同して予報を出します。



●水位の目安

洪水予報の種類と市・住民の対応

大雨の状況	気象情報	住民の行動
○川氾濫注意情報 (洪水注意報)	氾濫注意水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合	
○川氾濫警戒情報 (洪水警報)	避難判断水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合 ・一定時間後に氾濫危険水位に到達が見込まれる場合	必要に応じて避難の準備を
○川氾濫危険情報 (洪水警報)	氾濫危険水位に到達	いつでも避難できる態勢を。避難勧告・高齢者等避難開始
○川氾濫発生情報 (洪水警報)	氾濫の発生 (氾濫水の予報)	避難を完了

※洪水については特別警報の対象とならないので、指定河川洪水予報や水位周知河川の水位に応じた防災対策を取りましょう。

土砂災害に注意しましょう

参照 磐田市土砂災害特別警戒区域マップ

大雨などの際、たとえ注意に関する情報が発表されていなくても、近隣の斜面の状態に常に注意し、次のような前兆現象に気づいたときには直ちに安全な場所に避難してください。避難所に移動することが危険な場合は、上階がけから遠い部屋に急いで避難してください。

土砂災害の種類と前兆現象

土石流

山腹や深流の土砂が一気に下流へ押し流されます。

前兆現象
◎近くで山崩れなどが発生
◎立木の揺れる音や岩の流れる音がする
◎深流の水が急にごり、流木などがまざる など

がけ崩れ

雨でやわらかくなった斜面が急激に崩れ落ちます。最も多い土砂災害です。

前兆現象
◎斜面に亀裂が走る
◎小石が斜面からばらばら落下する
◎斜面から異常な音、山鳴り、地鳴りがする など

地すべり

斜面の一部が地下水の影響などでゆっくり下方に移動する現象です。

前兆現象
◎地鳴り、家鳴りがする
◎地面が揺動する、亀裂や段差が発生する
◎木の根先のすれ合う音がする (風がないとき) など

風水害No.2



地震の知識を身につけよう

知っておこう!

参照 磐田市震度分布マップ

繰り返し起こる大地震

日本列島の太平洋岸では、プレートの潜り込みによる地震が繰り返し起こっています。フィリピン海プレートが潜り込む東海から四国にかけての海域では、概ね100年から150年の周期で、ほぼ同じ場所で、ほぼ同じ規模の大地震が繰り返し起こっています。

駿河湾から御前崎沖では、安政東海地震以降いまだ大地震が発生しておらず、地震のエネルギーが蓄積されていると考えられており、近い将来、大地震の発生が予想されています。



地震編

Point 東海地震の予知に関する情報の発表

東海地震については、観測機器が他の場所より充実しているため、予知が可能な場合があると考えられています。

危険度アップ

東海地震に関連する調査情報

観測データに異常が現れているが、前兆現象かどうか直ちに評価できない場合に発表されます。

ご注意ください

テレビやラジオなどの情報に注意し、平常どおり過ごしましょう。

東海地震注意情報

前兆現象の可能性が高まったと認められた場合に発表されます。これを受け準備行動を始めます。

ご注意ください

旅行などは自粛し、非常持出品などを確認しましょう。

東海地震予知情報

東海地震が発生する恐れがある場合に発表されます。この発表と同時に警戒宣言が発令されます。

ご注意ください

十分警戒して、地震の発生に備えてください。津波やがけくずれの避難対象地域の方は安全な場所へ避難しましょう。

地震No.1



地震の知識を身につけよう

知っておこう!

参照 磐田市震度分布マップ

繰り返し起こる大地震

日本列島の太平洋岸では、プレートの潜り込みによる地震が繰り返し起こっています。フィリピン海プレートが潜り込む東海から四国にかけての海域では、概ね100年から150年の周期で、ほぼ同じ場所で、ほぼ同じ規模の大地震が繰り返し起こっています。

駿河湾から御前崎沖では、安政東海地震以降いまだ大地震が発生しておらず、地震のエネルギーが蓄積されていると考えられており、近い将来、大地震の発生が予想されています。



地震編

南海トラフ地震臨時情報ってなに？

南海トラフ地震の発生可能性が通常と比べて相対的に高まったと評価された場合に、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。国や市などからの呼びかけ等に応じた防災対応をとりましょう。

情報の種類	発表条件	住民のとるべき行動
調査中	●南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合等	●今後の情報に注意しましょう。
巨大地震警戒	●南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界において、マグニチュード(M) 8.0以上の地震が発生したと評価した場合	M8.0以上の地震発生後に隣接領域で1週間以内にM8クラス以上の地震が発生する頻度は10数回に1回程度とされています。 ●日頃から地震への備えを再確認しましょう。 ●地震発生後では津波からの避難が間に合わない地域では、1週間、安全な場所に事前避難しましょう。
巨大地震注意	●南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界において、M7.0以上、かつ、0未満の地震が発生したと評価した場合 ●想定震源域のプレート境界以外で、想定震源域の海岸沖外側50km程度までの範囲でM7.0以上の地震が発生したと評価した場合 ●短い期間にプレート境界の歪み状態が明らかに変化しているような通常とは異なるゆっくりにずれが観測された場合	M7.0以上の地震発生後に同じ領域で1週間以内にM8クラス以上の地震が発生する頻度は数百回に1回程度とされています。 ●日頃から地震への備えを再確認しましょう。
観度終了	●巨大地震警戒、巨大地震注意のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合	●通常の生活。ただし、大規模地震の発生危険がなくなったわけではないことに留意しましょう。

地震No.1

旧

第4次地震被害想定

静岡県では、東日本大震災の教訓を生かし、今後の防災対策の基礎資料として活用するため、12年ぶりに被害想定を見直し、2つのレベルを想定した「第4次地震被害想定」を策定しました。

磐田市の被害		第3次地震被害想定 (平成13年発表)	第4次地震被害想定 (平成25年発表)	
			レベル1	レベル2
			発生頻度が比較的高く(駿河・南海トラフでは約100~150年に1回)、発生すれば大きな被害をもたらす地震・津波(東海・東南海・南海 三連動地震)	発生頻度は極めて低いが、発生すれば甚大な被害をもたらす、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波(南海トラフ巨大地震)
地震動	震度7の地域	8.5km ²	45.4km ²	136.6km ²
	震度6強の地域	54.4km ²	106.7km ²	110.8km ²
津波	浸水面積	1.5km ²	1.3km ²	16.1km ²
	浸水深2m以上の面積	0.3km ²	0.4km ²	4.8km ²
	最大津波高	5.1m	6m	12m
	最大津波到達時間	—	15分	19分
建物被害	全壊	約6,000棟	約18,000棟	約27,000棟
	半壊	約13,000棟	約13,000棟	約16,000棟
人的被害	死者	約240人	約500人	約1,900人
	負傷者	約4,200人	約4,700人	約6,500人

※被害が最大となるケースを記載しています。

Point みんなで被害を減らしましょう!

市民の皆さん一人一人が、自分でもできることを一つでも多く実践することが、被害を0に近づけることにつながります。

地震No.2

新

第4次地震被害想定

静岡県では、東日本大震災の教訓を生かし、今後の防災対策の基礎資料として活用するため、12年ぶりに被害想定を見直し、2つのレベルを想定した「第4次地震被害想定」を策定しました。

磐田市の被害		第3次地震被害想定 (平成13年発表)	第4次地震被害想定 (平成25年発表)	
			レベル1	レベル2
			発生頻度が比較的高く(駿河・南海トラフでは約100~150年に1回)、発生すれば大きな被害をもたらす地震・津波(東海・東南海・南海 三連動地震)	発生頻度は極めて低いが、発生すれば甚大な被害をもたらす、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波(南海トラフ巨大地震)
地震動	震度7の地域	8.5km ²	45.4km ²	137.5km ²
	震度6強の地域	54.4km ²	106.7km ²	25.1km ²
津波	浸水面積	1.5km ²	1.3km ²	16.0km ²
	浸水深2m以上の面積	0.3km ²	0.4km ²	4.8km ²
	最大津波高	5.1m	6m	12m
	最大津波到達時間	—	15分	19分
建物被害	全壊	約6,000棟	約18,000棟	約27,000棟
	半壊	約13,000棟	約13,000棟	約16,000棟
人的被害	死者	約240人	約500人	約1,900人
	負傷者	約4,200人	約4,700人	約6,500人

※被害が最大となるケースを記載しています。

Point みんなで被害を減らしましょう!

市民の皆さん一人一人が、自分でもできることを一つでも多く実践することが、被害を0に近づけることにつながります。

地震No.2



津波の危険から身を守りましょう

参照 磐田市津波避難タワー・津波避難ビル・津波高マップ

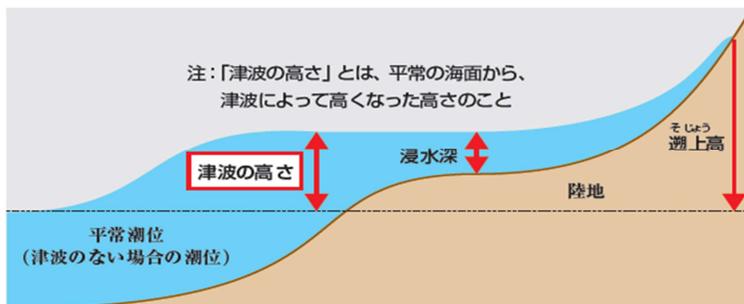
東日本大震災の津波は東北地方から関東地方の太平洋沿岸に甚大な被害をもたらしました。津波から身を守るには、唯一「逃げる」しかありません。揺れを感じなくても津波注意報や警報が発表されたらとにかく高い場所に避難してください。

Point 津波に関する警報・注意報

大津波警報（特別警報）・津波警報・注意報は、東日本大震災の教訓を踏まえて、マグニチュード8を超える巨大地震の場合は、その海域における最大級の津波を想定して発表します。最初の津波警報では、予想される津波の高さを数値で示さず、「巨大」「高い」という言葉で発表して避難を促すことに重点を置きます。津波の予想高は津波情報により公表します。

警報・注意報の分類	予想される津波の高さ		巨大地震の場合の表現	想定される被害
	高さの区分	数値での発表(発表基準)		
津波注意報	20cm～1m	1m	(なし)	• 海の中では人は速い流れに巻き込まれる。
津波警報	1m～3m	3m	高い	• 標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。 • 人は津波による流れに巻き込まれる。
大津波警報(特別警報)	3m～5m	5m	巨大	• 木造家屋が全壊・流出し、人は津波による流れに巻き込まれる。
	5m～10m	10m		
	10m～	10m超		

津波編



津波No.1



津波の危険から身を守りましょう

参照 磐田市津波避難タワー・津波避難ビル・津波高マップ

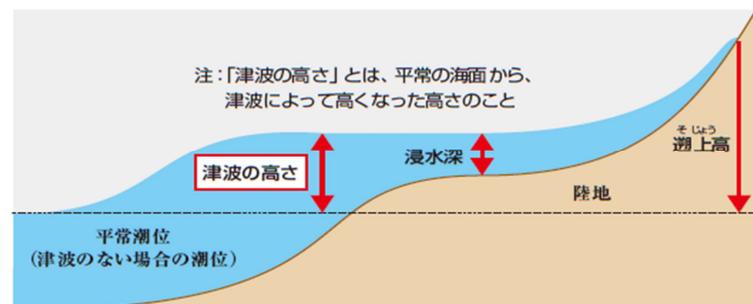
東日本大震災の津波は東北地方から関東地方の太平洋沿岸に甚大な被害をもたらしました。津波から身を守るには、唯一「逃げる」しかありません。揺れを感じなくても津波注意報や警報が発表されたらとにかく高い場所に避難してください。

Point 津波に関する警報・注意報

大津波警報（特別警報）・津波警報・注意報は、東日本大震災の教訓を踏まえて、マグニチュード8を超える巨大地震の場合は、その海域における最大級の津波を想定して発表します。最初の津波警報では、予想される津波の高さを数値で示さず、「巨大」「高い」という言葉で発表して避難を促すことに重点を置きます。津波の予想高は津波情報により公表します。

警報・注意報の分類	予想される津波の高さ		巨大地震の場合の表現	想定される被害と取るべき行動
	高さの区分	数値での発表(発表基準)		
津波注意報	20cm～1m	1m	(なし)	• 海の中では人は速い流れに巻き込まれる。 • 海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。
津波警報	1m～3m	3m	高い	• 標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。 • 人は津波による流れに巻き込まれる。 • 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所に避難してください。
大津波警報(特別警報)	3m～5m	5m	巨大	• 木造家屋が全壊・流出し、人は津波による流れに巻き込まれる。 • 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所に避難してください。
	5m～10m	10m		
	10m～	10m超		

津波編



津波No.1

主な用語の解説

知って
おこう!

あ) アルファ化米 (あるふあまい)
お米を炊き上げた後、乾燥させたもの。お湯か水を注ぐだけで、煮炊きせずにご飯ができる。軽食でコンパクトなため非常食や保存食として優れている。食物アレルギーに配慮した製品もある。使用量が増える。災害時自宅から非常食を持ち出せない人のため、約20万戸を備蓄。

い) わたはっとライン
携帯電話やパソコンのメールを利用し、防災情報のほか、さまざまな情報を伝達することができる。お問い合わせは **情報システム課** 0538-37-4818

東海地震 (とうかいじしん)
静岡県の中西部を震源域に発生すると考えられている地震。また、日本で唯一予知が可能かもしれないとされている地震。 **参照** 地震No.1

東海地震注意情報 (とうかいじしんちゅういほう)
観測された現象が東海地震の前兆現象である可能性が高まった場合に発表。 (少し余裕がある) **参照** 地震No.1

東海地震予知情報 (とうかいじしんよちいほう)
東海地震が発生する恐れがあると認められ、「警戒宣言」が発表された場合に発表される情報。 (切迫している) **参照** 情報No.3、地震No.1

か) 警報 (けいほう)
重大な災害が起こる恐れのあるときに、概ね3~6時間前に発表。ただし、短時間の強い雨に関する大雨警報・洪水警報については概ね2~3時間前に発表。 **参照** 情報No.3、風水害No.1、風水害No.2、津波No.1

東南海地震 (とうなんかいじしん)
愛知県沖から三重県沖を震源として発生すると考えられている地震。 **参照** 地震No.1

特別警報 (とくべつけいほう)
数十年に一度の雨量や、雪量、風が吹く等が予想される場合に発表する。(津波については、3メートルを超えると予想される場合、大津波警報を特別警報扱いとする。) **参照** 情報No.3、風水害No.1、津波No.1

さ) 災害回生訓練 (DIG) (さいがいじしんくわんれん)
参加者が大きな地図に避難場所や防災倉庫の位置、危険箇所などを書き込みながら、地域の災害対策について話し合うもの。DIGはその手法の一つであり、ゲーム感覚で災害時の対応を考えることができる。

指定避難所 (していひなんじょ)
大雨や津波などにより、自宅が被災して生活することができない人が避難生活をする場所。主に学校等の公共施設が各地区程度に指定されている。避難者により運営組織を編成して避難生活を運営する。

土砂災害警戒情報 (どしゃさいがいけいけいじょうほう)
大雨による土砂災害発生危険度が高まったとき、市町村長が避難勧告等を発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるよう、都道府県と気象庁が共同で発表する防災情報です。 **参照** 風水害No.1

トراف
海底の溝。 **参照** 地震No.3

心的外傷後ストレス障害 (PTSD) (しんてきがいししょうぐすとれすしょうがい)
震災などの強烈なショック体験や強い精神的ストレスが心の傷となって、時間がたつてからも恐怖感、無力感、悲嘆、眠れないなどのさまざまなストレス障害を引き起こす疾患。(このようにつらい症状が続いているときは、専門機関に相談してください。)

ソーシャル・ネットワーク・システム (SNS)
インターネット上で共同社会を形成し、利用者がさまざまな形で意見を分かち合うことができる会員制サービス。

南海地震 (なんかいじしん)
和歌山県沖から岡山県沖にかけて発生すると考えられている地震。 **参照** 地震No.1

南海トラフ地震 (なんかいとらふじしん)
駿河湾から九州東方沖まで続く深さ4,000メートル級の海底の溝を震源とした地震。(東海、東南海、南海の3つが同時に発生するマグニチュード9クラスの地震を南海トラフ巨大地震と呼ぶ。) **参照** 地震No.1、地震No.2

た) 第3次地震被害想定 (だいじじしんひがいそうてい)
阪神・淡路大震災から得られた教訓や災害対策の現状及び研究成果などを被害想定に反映し、平成10年度から12年度までの3か年をかり想定。 **参照** 地震No.2

避難所運営ゲーム (HUG) (ひなんじょうんいげーむ)
避難所の運営を模擬体験するもので、平成19年に静岡県が開発した。指定避難所の体育館や教室に見立てた大きな紙に、避難者に見立てたカードを配置していき、カードをどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こるさまざまな出来事にどう対応していくかを考えることができる。

第4次地震被害想定レベル1 (だいじじしんひがいそうていレベル1)
100年~150年に一度の頻度で発生し、大きな被害をもたらす地震。 **参照** 地震No.2

第4次地震被害想定レベル2 (だいじじしんひがいそうていレベル2)
千年~数千年に一度の頻度で発生し、甚大な被害をもたらす地震。 **参照** 地震No.2

避難場所 (ひなんばしょ)
自主防災会が定めた公園や広場、公会堂などの安全な場所で、大規模災害発生時にご近所の皆さんが避難や集合に使う場所。

防災・減災 (ぼうさい・げんさい)
防災とは、災害を未然に防止し、災害が発生した場合における被害の拡大を防ぎ、災害の復旧を図る取り組み。しかし、災害による被害を完全に防ぐことは不可能で、地域の防災力を上げる災害が起こった時、その被害を最小限に食い止めるための取り組みを減災という。

注意報 (ちゅういほう)
災害が起こる恐れのあるときに発表。短時間の強い雨に関する大雨注意報・洪水注意報については概ね2~3時間前に発表。 **参照** 情報No.3、風水害No.1、風水害No.2、津波No.1

付録編

主な用語の解説

知って
おこう!

あ) アルファ化米 (あるふあまい)
お米を炊き上げた後、乾燥させたもの。お湯か水を注ぐだけで、煮炊きせずにご飯ができる。軽食でコンパクトなため非常食や保存食として優れている。食物アレルギーに配慮した製品もある。使用量が増える。災害時自宅から非常食を持ち出せない人のため、約10万戸を備蓄。

い) わたはっとライン
携帯電話やパソコンのメールを利用し、防災情報のほか、さまざまな情報を伝達することができる。お問い合わせは **情報政策課** 0538-37-4818

注意報 (ちゅういほう)
災害が起こる恐れのあるときに発表。短時間の強い雨に関する大雨注意報・洪水注意報については概ね2~3時間前に発表。 **参照** 情報No.3、風水害No.1、風水害No.2、津波No.1

東海地震 (とうかいじしん)
静岡県の中西部を震源域に発生すると考えられている地震。 **参照** 地震No.1

東南海地震 (とうなんかいじしん)
愛知県沖から三重県沖を震源として発生すると考えられている地震。 **参照** 地震No.1

か) 警報 (けいほう)
重大な災害が起こる恐れのあるときに、概ね3~6時間前に発表。ただし、短時間の強い雨に関する大雨警報・洪水警報については概ね2~3時間前に発表。 **参照** 情報No.3、風水害No.1、風水害No.2、津波No.1

特別警報 (とくべつけいほう)
数十年に一度の雨量や、雪量、風が吹く等が予想される場合に発表する。(津波については、3メートルを超えると予想される場合、大津波警報を特別警報扱いとする。) **参照** 情報No.3、風水害No.1、津波No.1

さ) 災害回生訓練 (DIG) (さいがいじしんくわんれん)
参加者が大きな地図に避難場所や防災倉庫の位置、危険箇所などを書き込みながら、地域の災害対策について話し合うもの。DIGはその手法の一つであり、ゲーム感覚で災害時の対応を考えることができる。

指定緊急避難場所 (していきんきゅうひなんばしょ)
切迫した災害から一時的に身を守るために避難する場所です。津波、油火、土砂災害の種類ごとに指定されています。

土砂災害警戒情報 (どしゃさいがいけいけいじょうほう)
大雨による土砂災害発生危険度が高まったとき、市町村長が避難勧告等を発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるよう、静岡県と気象庁が共同で発表する防災情報です。 **参照** 風水害No.1

トراف
海底の溝。

指定避難所 (していひなんじょ)
大雨や津波などにより、自宅が被災して生活することができない人が避難生活をする場所。主に学校等の公共施設が各地区程度に指定されている。避難者により運営組織を編成して避難生活を運営する。

心的外傷後ストレス障害 (PTSD) (しんてきがいししょうぐすとれすしょうがい)
震災などの強烈なショック体験や強い精神的ストレスが心の傷となって、時間がたつてからも恐怖感、無力感、悲嘆、眠れないなどのさまざまなストレス障害を引き起こす疾患。(このようにつらい症状が続いているときは、専門機関に相談してください。)

南海地震 (なんかいじしん)
和歌山県沖から岡山県沖にかけて発生すると考えられている地震。 **参照** 地震No.3

南海トラフ地震 (なんかいとらふじしん)
駿河湾から九州東方沖まで続く深さ4,000メートル級の海底の溝を震源とした地震。(東海、東南海、南海の3つが同時に発生するマグニチュード9クラスの地震を南海トラフ巨大地震と呼ぶ。) **参照** 地震No.1

た) 第3次地震被害想定 (だいじじしんひがいそうてい)
阪神・淡路大震災から得られた教訓や災害対策の現状及び研究成果などを被害想定に反映し、平成10年度から12年度までの3か年をかり想定。 **参照** 地震No.2

避難所運営ゲーム (HUG) (ひなんじょうんいげーむ)
避難所の運営を模擬体験するもので、平成19年に静岡県が開発した。指定避難所の体育館や教室に見立てた大きな紙に、避難者に見立てたカードを配置していき、カードをどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こるさまざまな出来事にどう対応していくかを考えることができる。

避難場所 (ひなんばしょ)
自主防災会が定めた公園や広場、公会堂などの安全な場所で、大規模災害発生時にご近所の皆さんが避難や集合に使う場所。

防災・減災 (ぼうさい・げんさい)
防災とは、災害を未然に防止し、災害が発生した場合における被害の拡大を防ぎ、災害の復旧を図る取り組み。しかし、災害による被害を完全に防ぐことは不可能で、地域の防災力を上げる災害が起こった時、その被害を最小限に食い止めるための取り組みを減災という。

第4次地震被害想定レベル1 (だいじじしんひがいそうていレベル1)
100年~150年に一度の頻度で発生し、大きな被害をもたらす地震。 **参照** 地震No.2

第4次地震被害想定レベル2 (だいじじしんひがいそうていレベル2)
千年~数千年に一度の頻度で発生し、甚大な被害をもたらす地震。 **参照** 地震No.2

付録編